



津幡南中だより

校訓

☆燃えるような情熱

☆ひたむきな純粋さ

☆たゆみない向上心

津幡町立津幡南中学校

校長 永井 隆和 TEL288-7420

令和4年5月2日(月) NO.2



「 挑戦に必要なもの 」

校長 永井 隆和

日頃より本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜りありがとうございます。

さて、まずは前半の3連休が明け、生徒の皆さんが大きな事故やケガが無く登校してきた様子を見て安心しています。新学期が始まって1ヶ月、新しい環境、新しい友達や先生との出会いに、緊張・不安・戸惑い、と様々な思いが入り混じるスタートだったと思います。

そんな中、校長室に突然の訪問者がありました。それは、本校の生徒でした。校長先生に聞きたいことがあるということです。「何やった？」と尋ねると、「校長先生は、親孝行したことありますか？」と聞いてきました。生徒、保護者の皆さんなら、この時どう答えますか？私は、このように答えました。「親より長生きしていることかな」と。親が一番心配しているのは、子どもの健康です。元気で、何かに一生懸命打ち込んでいる姿を見せることで「親孝行」ができていないのでしょうか。

今年1年、生徒や職員、保護者の皆さんが大きな事故やケガなく健康に過ごせることを願っております。

さて、今年の学校のテーマは「挑戦」です。挑戦に失敗はつきものです。しかし、「**勇氣**」がないと、失敗を恐れて踏み出せません。その勇氣は、友だちや私たち大人の力によって生まれるものかもしれません。

そのことについて書いてある本を紹介します。

【子どもを勇氣づける20の方法】(今回は、その中の4つを紹介します)

1. わが子が生きていてだけで幸せと考えることが何よりの勇氣づけ

子供が生きていてだけで幸せと感謝することです。親の贅沢な悩みが子どもの勇氣をくじくのです。

2. 100点を取ってきた子どもをほめるのは勇氣づけにならない

100点取ったことよりも、その努力の過程を認めましょう。子どもは勝敗や能力ではなく、貢献や協力を認められると勇氣づけられる。

3. プラス面を見つけ出す「ポジティブ思考」が子どもを勇氣づける

欠点と思える性格でも、見方しだいでプラス面が見えてきます。人は欠点があり完全なものではないことを認めましょう。

4. 家族のルールをつくり守らせることで子どもは勇氣ある人間になれる

ルールをつくり守らせることで、子どもの自由と責任の感覚が育つ。子どもが責任を持って行動している限りは、最大限の自由を認めてやる。

これは、アドラー博士の「子どもを勇氣づける20の方法」星 一郎 著に書かれているものです。

つまり、人を勇氣づける時に大切なことは、人のできていない部分にばかり目を向けるのではなく、できている部分、達成できた部分を評価するほうがその人の「勇氣」がわくということです。

これは大人も中学生も同じです。授業や行事、生徒会活動や部活動でもくじけそうになった時、お互い背中を押してあげられる存在になりましょう。皆さんには自分の知らない能力が隠されているのですから。

【各学年の目標が決定しました！！】

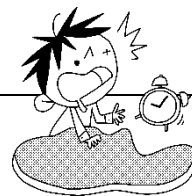
- (1)「粘り強く挑戦」～まじめな生徒を目指す～
- (2)「日進月歩」～成長を飛躍へ～
- (3)「雲外蒼天」～明るい未来をつかみとれ～



学年目標は、「こんな学年にしたい」という生徒の思いや願いを込めるとともに行動を振り返るものです。だから、生徒の皆さんは、目標を達成するために、より具体的な行動の計画や評価をしていかなければなりません。そして、私たち教職員や保護者は学年内の生徒の気持ちが一つになり、生徒一人一人が活力ある学校生活を送れるようバックアップしていきましょう。

★生徒指導より★

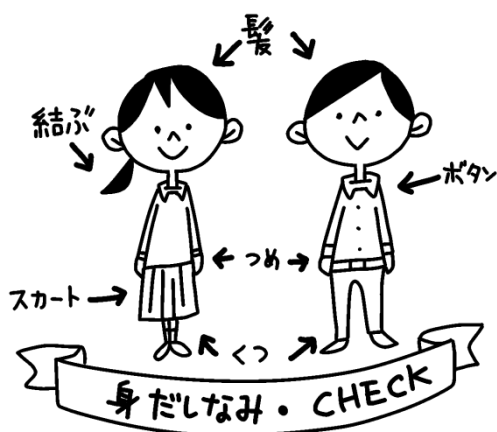
5月の生活目標



T・P・Oを意識した生活をしよう

T：時（時間） P：場所 O：場面

「時を守り」「場を清め」「礼を正す」・・・校長先生が4月の全校集会でおっしゃっていた言葉です。4月は学校の生活習慣の土台作りの月でした。5月は、その身につけた生活習慣を基にTPOを意識した学校生活を送る月です。生活に慣れてきた頃、疲れがたまりだす頃、GW明けで「だるい」と感じる頃など生活習慣に緩みがでてくるこの5月にそれを跳ねのけるTPOを意識して生活しよう。



「時を守り」「場を清め」「礼を正す」
言い換えると「味噌味!？」です。
津幡南中学校を良くしていく「みそあじ」

み・・・身だしなみを整える
そ・・・掃除を一生懸命にする。(無言清掃)
あ・・・あいさつを誰にでもどこでも
じ・・・時間を守る



TPOの合言葉は「みそあじ」!

★学習指導より★

《4月の学習強化期間を終えて》

4月の学習強化期間として、より良い授業への受け方のために、「終始の挨拶」「返事」「授業準備」の3点を中心に、取り組みを行いました。どの学年も、意識して授業に臨むことができました。1年生は、小学校から中学校の授業に切り替わり、中学校の授業の受け方に慣れてきたことと思います。強化期間が終わっても、当たり前のことを当たり前に行い、一つ一つの授業に集中していきましょう。

<3年生のコメントより>

- ・5日間パーフェクトでした。2年生のときはできなかったことなので、自分でも成長したと思います。
- ・ベル学を意識すると、その日の予習や前の日の復習ができて、勉強内容がスラスラと入ってきたので、今後も続けようと思った。
- ・テストのあった1週間だったけど、授業と休み時間のメリハリをつけて、集中してできたので良かったです。

5月の学習目標について

時間のけじめをつけよう

- ・移動教室は早めに!
- ・チャイムとともに学習を始める
- ・家庭学習時間を増やす

5月の学習目標は「時間のけじめをつけよう」です。4月の学習強化期間では、ベル学などは多くの生徒が意識できていました。今月は、それにプラスして家庭学習時間を意識していきましょう。

第2回学習強化期間を5月17日(火)～26日(木)で実施します。今月は、学年プログラム委員を中心に、学習時間チェックを行います。家庭学習を習慣化させていきましょう!